

# 定例公安委員会の開催状況について

令和6年10月24日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

## 1 定例会報告事項

### (1) コンビニポリス制度を活用した特殊詐欺被害防止の推進について

コンビニポリス制度を活用した特殊詐欺被害防止の推進について報告があった。  
委員から、コンビニエンスストアは、地域の重要な生活インフラになっていることから、警察の担当者を決めることで従業員との良好な関係を築くことは、特に特殊詐欺被害防止効果が期待できる旨の発言があった。

委員から、県内でコンビニ強盗が発生していることから、従業員の不安感を払拭できるようにコンビニとの連携を図っていただきたい旨の発言があった。

委員から、特殊詐欺の電子マネー型被害の阻止率が、制度導入後7割以上向上しているのは大変な効果である旨の発言があった。

### (2) 山形駅前の繁華街対策について

山形駅前の繁華街対策について報告があった。

委員から、コロナ禍以前を上回る経済活動が行われている状況下で、新規参入し規制が守られない事案に対して、しっかりと検挙活動に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、警察できちんと取り締まりを行うことによって、悪質な行為がなくなっていくことに繋がるのではないかと旨の発言があった。

委員から、プロジェクトチームとして部門横断的に連携したことによって検挙に結び付けたことはすばらしい旨の発言があった。

### (3) 大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律の施行について

大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律の施行について報告があった。

委員から、施行後は、違法な薬物の所持だけでなく施用も含めて絶対に許さないという姿勢で対策に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、施用についての罪も規定されたことから、改正法の規定に従い厳格に取り扱っていただきたい旨の発言があった。

委員から、改正法により大麻等の所持だけでなく施用についても罰則が定められ、厳格化されたことをしっかりと教養していただきたい旨の発言があった。

### (4) 高齢者交通事故の実態と防止対策について

高齢者交通事故の実態と防止対策について報告があった。

委員から、この1年間の交通事故発生件数が減少している中で、高齢ドライバーが第1当事者となる事故の割合が増加していることから、引き続き高齢者が当事者とならないような取組が必要である旨の発言があった。

委員から、高齢ドライバーの割合は年々増加していくことが統計上分かっているので、そこを見越した取組が必要である旨の発言があった。

委員から、高齢者の交通死亡事故を防止するため、交通事故の原因や形態等のデータを示しながら広報啓発を引き続き行っていただきたい旨の発言があった。

(5) 沿岸部における警備諸対策について

沿岸部における警備諸対策について報告があった。

委員から、沿岸部からの密出入国事案を許せば、重大な犯罪に発展する可能性があることから、今後も、関係機関・団体等と連携をして警戒活動への意識を高めていただきたい旨の発言があった。

委員から、過去に、朝鮮半島からのものと思われる木造船等が漂着した事案があったことから、あらゆる事案を想定して継続した訓練をお願いしたい旨の発言があった。

委員から、大型クルーズ船を含む外国籍船寄港時は、関係機関と連携した警戒活動を引き続きお願いしたい旨の発言があった。

## 2 個別審議等会議

- 援助の要求について  
警察本部から、大分県公安委員会からの援助の要求について説明を受け、決定した。
- 運転免許行政処分審査  
警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定した。
- 銃砲所持者の許可取消について  
警察本部から、銃砲所持者の許可取消について説明を受け、決定した。
- 山形県手数料条例の一部改正について  
警察本部から、山形県手数料条例の一部改正について説明があった。
- 災害対策検討委員会からの報告について  
警察本部から、災害対策検討委員会からの報告内容について説明があった。
- コンビニ強盗の発生について  
警察本部から、コンビニ強盗の発生について報告があった。
- 全国警察柔道・剣道大会の結果について  
警察本部から、全国警察柔道・剣道大会の結果について報告があった。